

源泉所得税241万4千円、延滞税30万円を増額。

税務課関係では、固定資産税の住宅用地に係る特例において、軽減措置がなされていない土地がある事が判明、調査で106件の措置漏れが見つかったため、補償補てん金及び賠償金400万円と村税還付金及び還付加算金450万円を増額。

教育委員会関係では、文化財損壊の補修事業に109万5千円を増額。

健康福祉課関係では、臨時福祉給付金2214万2千円を増額。予算編成時では、対象者が住民税非課税世帯などで、確定できなかったため多額の補正となったもの。10月1日から予防接種法が変わり水ぼうそう、高齢者肺炎球菌が新たに定期接種となり346万4千円を増額。住民課関係では、白馬山麓環境施設組合(クリーンスモ姫川)の老朽化に伴う施設のありかたを検証するため、委託料として430万円を増額。

問 税の還付金等の住宅用地の特例は、職員の知識不足か。
答 職員の認識不足と係同士の連携不足が原因。

問 課税誤りは自主的に見つけたのか。

答 納税者の指摘で、調査した結果。

問 106件で全てか。

答 今年整備している評価システムにより、さらに出る可能性もある。

意見

・税務課窓口などでは、親身になって相談にのってほしい。広報やホームページのほか、村民と対面して話す事も大事だと心がけてほしい。

・今回の補正はミスによるものばかりである。滞納処分などを厳しく行っているのに、課税ミスは徴収に影響がでると思っている。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第43号平成26年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ109万8千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ12億3897万8千円とするもの。高額療養費の見直し等によるシステム改修に、67万5千円を増額。固定資産税の賦課誤

りに係る国保税資産割部分の更正により20万円を増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●請願第1号 活力ある白馬村を創出するための減税施策と村を守るための村税の施策を求めるとの請願書

請願事項

1、事業者を守るため白馬村として何らかの減税策を実施してください。
2、スキー場の差押・公売など観光の基盤を揺るがす施策はやめてください。

説明者

八方尾根観光協会会長丸山星郎氏、一般財団法人八方振興会理事長丸山仁也氏

問 無理なもの、時効停止しない、で不能欠損すべきということか。

説明者

時効までの5年間で最大限の努力をして、5年後にはなくしていくようなことをしないと皆が潰れてしまう。王滝村ではそういうやり方をしている。納税義務者としては、経営基盤の改善がなければ、過去のものを清算できる力はない。

問 税の軽減をすると、村財政も厳しくなり、観光施策も低迷していくと思うが。

説明者

村の固定資産の見直しを市場価格に合わせてほしいと思うが、そうすると税収は減るし、国や県からの交付金に影響が出ることは分かっている。

意見

・意見を聞く中で、経済的に大変厳しい状態であることは理解できるが、全てが固定資産税を見直せば解決するとは思えない。継続的に議論をしたらどうか。

・不均一課税などについても検討の必要があり、継続審査がよいと思う。

▽委員全員の賛成により継続審査すべきものと決定。

●請願第2号 集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願

請願事項

集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備を行わないことを求める意見書を政府及び関係行政官庁宛に提出してください。

意見

・撤回すべきとの部分は賛成しかねる、一議会で結論を出すべき問題ではない。慎重に議論していただきたいという意見書を、白馬村議会として出すべき。

・内閣で閣議決定をすべきでない、憲法改正を経てほしいと思うので、閣議決定撤回は賛成である。

▽委員少数の賛成により不採択すべきものと決定。

●陳情第10号 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

問 池田町は継続支給、松川村は同時期に止めて24年度に復活しているがこの辺の経過はどうか

答 それぞれの町村の法律の前身読み方の差が出たのでは、復活しているところが結構ある。

賛成討論

少子化で子育てしやすい環境を整えるために、近くの高校に通えない子どももいるので選択肢が多い方がいいので採択すべき。

反対討論

白馬・小谷は白馬高校を残すために、子供たちに制限するつもりはないが、私学よりも地元